

愛の家グループホーム 笠松

令和4年度 自己評価・外部評価 報告書
(運営推進会議にて評価確定)

令和 5年 3月 13日

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	理念の内容について全体会議・ユニット会議で管理者・職員で共有、振り返りを行いながら理念に基づいたケアを実践できる様に取り組んでいる。毎朝朝礼時に学研グループ理念、介護理念の唱和を行っている。職員全員が理念ブックを所持しており「迷ったときは理念に立ち返る」を合言葉に全職員が意識し実践できている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、積極的な地域交流は行えなかったが事業所ネットワークの一人として地域カフェや認知症声掛け訓練に参加、認知症VR体験や介護相談会など企画している。また、集会場を地域の方々の話し合いの場として提供している。	感染者状況を鑑みながら、その時の情勢に合わせ柔軟に対応しながら、地域行事への参加、地域の方のニーズを把握し事業所ネットワーク員としても地域と交流しながら認知症の人の理解が得られるよう関わっていく。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	2か月に1回、運営推進会議を開催、コロナ禍の為、感染状況を鑑みながら行政からの通知に基づき集合での開催を中止し書面での現況報告・意見照会を行っている。照会でいただいた内容を基にサービス向上に活かしている。案内状送付先はご家族様・自治会長・いきいきセンター・民生委員・連携医・看護師・薬局・地域の消防団員等。	感染状況により対面でのやり取りは難しい時も、書面で日々の状況を報告し、意見を取り入れるための対応を継続しサービス向上に活かしていく。		
4	市町村との連携	市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	市町村担当者には、ホームの実情を伝え、助言や情報提供を受け、協力関係を築いている。また、事業所ネットワーク「松の実ネットつながるっ隊」に所属し社会福祉協議会、病院、居宅ケアマネ、地域包括と共に活動を行っている。	事業所ネットワークでの活動を今後も継続し市町村担当者とも連携しながら、協力関係を深めていく。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	3か月に1回身体拘束の研修を行っている。不適切ケアチェックシートを使用し管理者・ケアマネ・ユニットリーダーで身体拘束廃止委員会を実施し、どのような行為や言動が身体拘束に当たるのか話し合い議事録を職員間で共有し、身体拘束をしない、させないケアを実践している。玄関は夜間や人員が少ない時は入居者様の安全を守る為、施錠を行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	高齢者虐待防止マニュアルを整備し、虐待をしない・させないケアができるように全体会議での研修やMCS統一研修(高齢者虐待、身体拘束ゼロに向けて)勉強の機会を持ち、職員同士注意し合える関係作り、入浴や更衣時に皮膚状態を観察している。皮下出血等を発見した際はヒヤリハットを提出し職員で共有している		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	学研グループ内でも毎年人権啓発研修を行っている。また、ホーム内研修を行い日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持っている。現在1名の入居者様が成年後見制度を利用している。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約の締結、解約、改訂の際には利用者様・ご家族様の不安や疑問点を尋ね、ご理解・納得して頂けるよう説明行っている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議での意見交流や日々の面会時コミュニケーションを図り入居者様・ご家族様の意見を反映させている。また8月にお客様アンケートを実施し集計結果今回のアンケート結果を踏まえ、更なるサービスの向上とホーム運営に反映している。玄関に苦情相談窓口、意見箱を設置。		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月1回の全体会議・ユニット会議にて職員の意見や要望を聞く機会を設けており、その意見を反映している。また毎朝・夕の申し送り時にケアについて最新の提案を行った際は管理者から助言をもらい反映させている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	能力に応じた研修の開催やキャリアパス制度を導入し個々のスキルアップ・給料アップ等、向上心を持ち働ける様に職場環境の整備を行っている。また2か月に1回、職員との定期面談を行っており心身の状態や今後のビジョンについて話し、職場環境や条件の整備を行っている。		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人内では新卒研修・CS研修・リーダー研修等、1人1人の力量に合わせた研修を受ける機会を確保している。希望する研修に参加できるように勤務調整を行っている。新入職員に対してはプリセプター制度を導入しており日々のOJTを通して指導している。		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	愛の家グループホーム内での各研修会や事例検討発表会、他事業所への応援を通して同業者との交流機会を作っている。東第11圏域内の事業所ネットワークに参加しており毎月活動を行っている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者様の尊厳を第一に考え、その方の得意な事が発揮できるように支援している。また、入居者様がスタッフの洋服やエプロンの綻びやボタン付けをしてくださったり、一緒に料理を行うなど共に支え合い暮らしを営んでいる。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ感染対策により馴染みの場所や自宅への外出はできなかったが、個別ドライブ、オンライン面会・お手紙を書いていたいたり、コロナ禍でもできる事を支援し近況報告を行い関係性が絶えないよう支援している。	その時々で世情にあわせ、馴染みの方との関係が途切れないよう支援していきたい。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

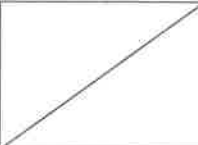
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居前のアセスメントで、今までの暮らし方を把握し、日々の会話の中で、その方が今何を思っているのか、何を望んでいるのか聞き取りを行ったり、本人様からの聞き取りが難しい際は、ご家族様にも協力を頂き意向の把握に努めている。		
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご本人様やご家族様からの意向や希望、やりたい事について聞き取りを行い、その意見を基にユニット会議の場でケアの内容について話し合い、意見やアイデアを取り入れている。また、医療職や作業療法士等、他職種からのアドバイスも取り入れその方がより良く暮らすための介護計画を作成している。	お一人お一人と向き合い、ご家族様からの情報ご意見などをいただき、医療、リハビリ、など関係者からの意見助言を通して、より良い暮らしのため介護計画を作成していく。	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ケア日報や処遇記録等に、ケアプランに沿った内容の記載、気づきや、その方の変化を記載し送り時に情報共有したり、毎月のユニット会議で介護計画の見直しに活かしている。		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	その時々、ご本人様やご家族様の状況、ニーズに合わせて既存のサービスに捉われず様々なスタッフの意見や発想を取り入れ柔軟な支援やサービスができるように取り組んでいる。	事業所ネットワークでの活動からの横のつながりを活かし、既存のサービスに捕らわれず様々な意見や発想を取り入れ柔軟なサービスが支援できるよう取り組んでいく。	
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍での感染対策により地域の子どもたちとの活動を通しての触れ合う時間や地域の夏祭り・運動会、バスハイク等、地域資源を活かした暮らしの支援ができていない。昨年よりは窓越しや玄関先で子どもたちと声を掛け合いお話をする時間は持つことができた。	事業所ネットワーク活動など多職種との関わりの中から地域資源をもっと把握し活用できるように学びを広げ支援に活かしていく。	
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者様全員に、かかりつけ医を選択して頂いている。現在始どの入居者様がホームの協力医を主治医とされている。ほぼ毎日、各入居者様の訪問診療があり急変時や特変時には臨時往診も受けられる体制になっている。		
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者様が入院した際にも安心して治療が受けられるよう、日常的に病院関係者との情報交換を行い、関係作りを行っている。コロナ感染対策により面会ができないときも、電話等で状態の確認を行い、早期退院ができるように連携し支援している。		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時にご本人様やご家族様へ聞き取り意向の確認、重度化した場合や終末期のあり方について、ホームでできる事・できない事を明確化し再度、ご本人様・ご家族様・ホーム長・医療連携者で話し合い(インフォームドコンセントの実施)、スタッフも医療関係者と連携し、ご本人様の意向に沿う形で最期まで支援できる様に取り組んでいる。		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	緊急対応マニュアルを作成し入職時に配布している。また、定期的に応急手当や急変時の対応について勉強会を行ったり、新入職員等にはホーム長やユニットリーダーが指示・助言を行い実践力が身に付くように指導している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力的体制を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	防災マニュアル作成しており、年2回避難訓練を行っている。地域の消防団の方にも助言をいただき、訓練についての反省点を全体会議の場で全職員に共有している。また、町内の方とも顔なじみの関係ができており、緊急時には協力的体制が取れるよう関係を築いている。	いざという時のために、訓練日以外も意識しながら、職員間で声をかけあい「今地震が起きたら」「火災が発生したら」を考え行動できるよう意識付けを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	定期的にプライバシー保護について研修を行っている。また、お1人おひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない声掛け支援、必ず説明と同意を得てからケアを行っている。職員間でも不適切な声掛けや対応があれば注意しあえる環境を作っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	お1人おひとりのペースに合わせ職員側の都合や業務優先ではなく、その日をどのように過ごしたいか希望・意向を伺い、お一人おひとりの意思を尊重し無理のないペースで生活できるように支援している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ホーム理念にある「食で利用者様を笑顔に」という理念に沿い食べたいものの希望を伺ったり、食事やおやつ等の準備・片付け・ホームの畑でご利用者様と一緒に野菜を育てたりと、お1人おひとりの力を活かしている。コロナ禍のため、外出に行けないが、手作りお弁当を庭で食べたり、食べたいメニューを伺いテイクアウトを利用するなど食事を楽しんでいただける様に支援している。		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	全職員が把握できるよう嗜好調査票作成、水分を摂れない方にはゼリー状にして提供したり、食事が少ない方には好物や栄養補助食品を提供し召し上がっていたるように支援している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎食後に口腔ケアを行い、お1人おひとりに合わせた声掛け・介助を行い口腔内の清潔保持に努めている。また必要時には歯科診療を行い、歯科医師による助言をいただき支援している。		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	お1人おひとりの排泄パターンを把握しさりげない声掛け、トイレ誘導を行い排泄動作・拭き上げ等ご自分でできる事はしていただいている。自立支援ケアにより、お1人おひとりに合った水分量の提供。個々に合わせた体操メニューの提供行い脳の覚醒水準を上げて排泄の失敗が減らせる様に取り組みを行っている。便秘改善に取り組んでおり、下剤の減薬に繋がっている。		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	週に2~3回のペースで入浴していただける様に支援しているが、希望時には入浴していただけるよう支援している。その日の入居者様の希望や体調を考慮し声掛けや手順を工夫したり、好みの湯温・入浴剤を使用したりと楽しんで入浴ができるように支援している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お一人おひとりの生活習慣に合わせ、夕食後に休憩の時間を作り日中でも休んでいただける様に支援しており、お昼寝をされたり、ソファでうとうとされたり思い思いの時間を過ごしていただいている。また夜間はその日の温度や湿度、照明の明るさ等にも配慮したり就寝前には安心して休んでいただける様に会話を楽しんでいただいたり、ソファでゆっくりと過ごしていただける時間を作っている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬時は服薬マニュアルに沿って服用していただいている。薬の目的や副作用・用法や用量については薬情を確認し必要時には薬剤師にも確認、情報を共有、症状に変化があれば主治医に報告している。また処方変更時には経過観察行い日報や処遇に記入しスタッフ間で情報共有を行っている。			A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お一人おひとりの得意な事、楽しみである事をアセスメント行い、家事・散歩・ドライブ・畑仕事等その方に合わせた気分転換の時間がつくれるよう支援している。	ご要望を伺いながら、楽しみごと、得意なことをその方に合わせた気分転換ができるよう今後も支援していく。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、満足な外出支援は行えなかったが、感染対策を行った上で個別ドライブや個別での外食等、少しずつコロナ禍前の日常に戻れる様に世情を鑑みながら支援を行っている。「脱コロナ」を目標に「行けない」ではなく「どうすれば希望が叶えられるのか」考え支援を行っている。	今後も継続し願いを叶えられるよう応援していく。普段は行けない場所でも関係者と連携しながら支援し安全に支援が行えるよう、病状などから考えられるリスクなどを、医療機関とも連携を図って支援していく。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染対策により、人との接触を控えるため、利用者と一緒にお金を所持していただき買い物へ行く支援が行えなかった。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人様からの希望があった際には、ご家族様や大切な方に電話ができる様に支援している。また毎月の活動の様子や近況報告のハガキを県外に住まれている息子様や娘様に写真付きで送れる様、内容は一緒に考え、入居してからも大切な人との繋がりが絶えないように支援している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共用空間には音・光・色・室温等に配慮し入居者様が混乱を招かない様に季節感のある作品を掲示、不快となる刺激がないように配慮し、室温及び湿度は冷暖房、加湿器を適時調整し快適に居心地よく過ごせるようにしている。			A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご本人様との会話の中で、その方が今何を思っているのか、何を望んでいるのかを把握し、困難な場合はご家族様からも聞き取りを行っている。日々生活の中で自己決定していただける声掛けを行い、本人様の意向に沿った暮らしができる様に支援している。		
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時のアセスメントで、その方の生活歴や馴染みの暮らしを把握し入居してからも生活習慣など継続していただけるよう支援。入居後もご本人様との会話の中で発言を共有し、ご家族様からも情報をいただき暮らしを支援している。		
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時に希望を伺いかかりつけ医を選択していただいている。24時間オンコール体制により主治医の指示のもと適切な医療を受けられる体制を整えている。安全面・環境面についても作業療法士の評価・助言をもとにケアプランへ反映し支援している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	アセスメントによりこれまでの暮らしの習慣の把握を行っている。喫煙の習慣がある方には、これまで通り喫煙を楽しんでいただける様に火の取り扱い等支援しご本人様のペースに合わせた暮らしを支援している。		
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時にご本人様が使った慣れた昔から馴染みのある家具や日用品を持参していただけるよう説明し居心地よく過ごしていただけるよう配慮している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	お墓参り・参拝・山登り(ドライブ)・思い出の地巡り等お1人おひとりの願いを叶えられるよう、ご家族様とも相談の上、人との接触は控え、職員と個別での外出支援を行っている。コロナ感染拡大防止の観点により催事等への参加は控えている。	意向や希望により外出できるよう感染対策を行いながら、柔軟に対応し願いを叶えられるよう職員と個別での外出支援を行っていく。	
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者様の尊厳を第一に考え、その方の得意な事が発揮できるように支援している。役割を持っていただけるよう支援し、料理や掃除、制作など工程を分けて提供するなど、得意なことを活かし楽しんでいただけるよう支援している。		
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場を日々の暮らしの中で得ることができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	お1人おひとりの会話を大切にしており、何気ない会話から生まれる笑顔を大切にしている。会話から、にやりとしたりホットした事を「にやりホット」として職員間で共有行っており、毎月のお便りにて、ご家族様にも共有行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない

48		<p>本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる</p>	<p>A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>コロナ禍により人との接触を控え、地域の方との交流、人々との関わりはできなかったが、下校時の子どもたちを玄関先で見守ったり、玄関先に子どもたちが遊びにきてくれることがあり、窓越しにおしゃべりをしたりと少しずつ関わる時間を持てるようになっている。</p>	<p>認知症の症状、進行によりマスク着用や感染対策への理解が難しくなっているご利用者様への対応、支援などご家族様の理解、協力をお願いし支援していく。</p>		
49	総合	<p>本人は、このGHIにいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる</p>	<p>A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>コロナ禍の為、外出支援や地域の人々と親しみの場所を作る事はできていないが、「全利用者様のしたい事、希望を叶える事を最優先とするグループホームであり続けます」というホーム理念の基、入居者様の希望を伺い、「コロナだからできない」ではなく「どうすれば叶えられるのか」スタッフ間で意見を出し合い、よりよい日々を送る事ができる様に寄り添っている。 また、入居者様が不安にならない様に常に声を掛け、視線を送り、皆様の事を見ますよと気持ちを伝えている。 特別な事がなくても日常の何気ない会話の中から入居者の笑顔が生まれ、入居者様の笑顔でスタッフが元気を貰い共に支え合い生活しており、入居者様は顔馴染みのスタッフの中で安心した日々を送られている。</p>	<p>感染対策緩和など少しずつコロナ禍前の生活に近づけるよう世情を鑑みながら、介護施設として感染対策は継続し、健康で楽しみのある生活を送ることができるよう1日1日、その時その時を大切に考え関わりながら過ごしていく。</p>	<p>A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	